

山本しゅうじ

Vol.2

令和6年4月20日発行

ミータス
いよいよ、『meetus 山科-醍醐プロジェクト』が始動！

【12月の本会議での代表質問】

私は選挙前から、「やましな再興から京都市創生」、「山科の再興なくして京都市の発展はない」という理念に基づいて訴えを続けて参りました。昨年4月の初当選以来、議会活動の中で、各種委員会における質問、市長総括質疑、そして昨年12月の代表質問でも、**山科区のポテンシャルを最大限に活かす**べく、都市計画の見直し、更なる観光振興、公共交通網の維持・発展など、『**山科再興プロジェクト**』の推進について質問をさせていただきました。門川前市長からは、「山科地域の生活交通の維持・確保に全力で取り組むとともに、山科の持つ魅力を組み合わせ、更なる観光振興を図ってまいります。『**山科再興プロジェクト**』については、**山科区にとって非常に重要な視点と**考えており、**全庁一丸でスピード感を持って取り組みます。**」という、力強い答弁をいただきました。

本年2月の京都市長選挙では、京都市民の皆さまの良識あるご判断のもと、松井孝治新市長が誕生しました。松井市長は、主に令和6年度の予算を審議する3月市会において、「京都に住みたい、住み続けたい、働きたい、活躍したいと思われ、人々から選ばれるまちづくりを進めていかなければならない」と、市政運営に対する考え方を表明されました。

伏見区選出の橋村芳和議員が、自民党京都市会議員団を代表して質問に立たれ、「**京都市東部エリアは市内外のアクセスも良く**、昨年4月には外環状線の高さ規制の緩和も行いました。市長の公約に『**地域特性に応じた活性化プロジェクト**を市内周辺部の他のエリアに拡大展開」とありますが、展開される地域をお伺いします。」と質問されました。

松井市長は答弁の中で、「山科区・醍醐地域の都市計画の見直しの効果を発現させることは待たなしであります。まずは、『**山科・醍醐地域**』で**地域の皆さまと共に地域の魅力を最大限に活かす取組を推進します**。全庁体制を構築し、わくわくする京都づくりを進めてまいります。」と、さらに踏み込んだ答弁をいただくことが出来ました。

3月28日の記者会見で松井市長が発表された、『**meetus山科-醍醐プロジェクト**』は、「地域の魅力やポテンシャルを最大限活かし、あらゆる世代が、**ワクワクするような山科・醍醐を地域の皆様と共に目指します。**」という理念のもと、賑わい溢れる居住空間づくりを目指した都市計画の変更、京都駅に次ぐ利用者を誇る山科駅のポテンシャルを高め、東の玄関口として活かすことが重要。ということで、副市長が推進本部長となり、都市計画局、山科区役所、醍醐支所をはじめとする、**全庁体制の推進本部が設置されました。**

私が12月市会で提案した『**山科再興プロジェクト**』が、伏見区醍醐周辺部にまで拡大され、『**meetus山科-醍醐プロジェクト**』として動き出すことを大変嬉しく思っております。

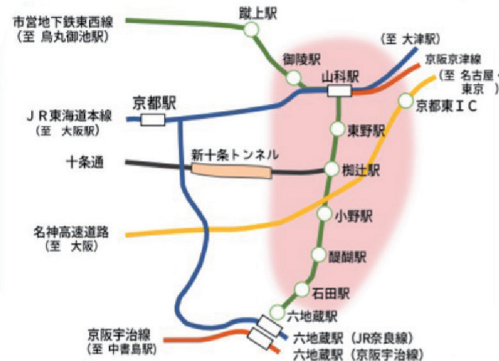


※松井市長の記者会見の様子は以下のリンクから
<https://www.youtube.com/watch?v=auhgsrFcV0s>
 (23分10秒あたりから)

今後、地域の皆様の御意見を伺いながら、様々な取組を検討していき、令和6年秋頃には取組の方向性を発表し、令和7年3月頃には取組の具体策を発表するというスケジュールが組まれております。

令和8年には、『山科区創立50周年』の大きな節目を迎えます！

より多くの方々が『山科に住み続けたい、山科で活躍したい』と思えるようなまちづくりを皆さまとご一緒に推進して参りたいと存じます。引き続き、温かいご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



【山科醍醐地域の路線図】



【プロジェクト名の意図】

・私たちと会おう ・暮らしを満たす
 ・実を足す ・未来を足す など

令和6年度予算 1兆8,247億円 が可決！

2月の京都市長選挙において、京都市民の皆様から大きな信託を受けられた松井孝治市長の船出となる『令和6年度予算』が3月市会において可決されました。今回の予算は『当初予算の第1次編成』と位置付けられ、義務的・継続的事業や、年度当初から実行が必要な施策についての予算を計上したものです。松井市長のカラーは、5月市会において『当初予算の第2次編成』として追加提案される予定です。

松井市長と自民党京都市会議員団は、『車の両輪』として協調しながらも、緊張感を持って建設的な議論を積み重ね、市民の皆様希望の光を届けるべく『突き抜ける世界都市京都』をともに創造してまいります！

令和6年度予算

全会計 **1兆8,247億円**

一般会計 **9,514億円**

特別会計 **6,211億円**

公営企業会計 **2,522億円**

令和5年度の山本しゅうじの議会活動

◆京都市会各委員会における山本しゅうじの質問

①産業交通水道委員会での一般質問

- ・手ぶら観光の推進について ・交通局経営状況の見える化について
- ・市バスの安定的運行に向けた運転士の確保について ・持続可能な農業振興について 等

②予算・決算特別委員会第3分科会、市長総括質疑での質問

- ・農業振興について ・伝統産業振興について（更なる支援の拡充）
- ・上下水道局の広報・広聴全般について
- ・琵琶湖疏水事業の魅力発信について 等

◆他都市への行政視察・調査活動

常任委員会や自民党京都市会議員団による実地調査においては、他都市の先進的な取組を視察させていただき、現場担当者との率直な意見交換をして参りました。また、各省庁への予算要望では、京都市の取組に対して、国からの積極的な財政支援を要望して参りました。他都市の良いところを京都市に取り入れながら、更なる発展に尽くして参ります。



※議会活動での質問動画は、以下のリンクまたはQRから視聴していただけます。
【山本しゅうじHP】
<https://shuji-yamamoto.jp/activity/>



①産業交通水道委員会による他都市調査

8月23日～25日 広島県庁、福岡市スタートアップ支援施設、福岡市地下鉄タッチ決済視察、日田市ウッドコンビナート など

②自民党京都市会議員団による他都市調査・中央省庁への予算要望活動

11月14日～16日 宇都宮市役所にて都市ブランディング戦略、宇都宮ライトライン（LRT実地視察）、各省庁への予算要望（厚生労働省、国交省、中小企業庁など）



市政に関するご相談や
地域のお困りごとなどお聞かせください！

発行 京都市会議員（山科区）

山本しゅうじ事務所

TEL 075-582-9922 FAX 075-582-9933
〒607-8135 京都市山科区大塚野溝町94-3 コーポ中村107号

HP



Instagram



X(旧Twitter)



山本 修士
やまもと しゅうじ
Profile

昭和46年 8月1日生まれ
昭和59年 西野小学校卒業
昭和62年 安祥寺中学校卒業
平成2年 京都府立洛東高等学校卒業
平成3年 京都府議会議員山本直彦秘書

平成12年 衆議院議員野中広務秘書
平成23年 学校法人平安女学院勤務
令和3年 京都市会議員吉井章秘書
令和4年 参議院議員吉井章公設第一秘書
令和5年 京都市会議員初当選（1期目）

家族 妻、娘2人、愛犬
趣味 読書

